

2006年3月期
中間決算説明会資料
(2005年4月～9月)

ニッシン債権回収株式会社
(東証マザーズ 8426)

2005年11月

[将来予測に関する記述について]

本資料には、当社グループの意図、信念、現在及び将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在及び将来の予測に関する記述が収録されております。記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績は様々な要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご留意ください。

実際の業績に影響を与えうる潜在的なリスクや不確実性を伴う要因には、以下のようなものが含まれます。

- ・ 日本国内の経済環境の回復に伴う不良債権の流動化市場の収縮
- ・ 競争激化による特定金銭債権の買取価格の水準の高騰、及び受託手数料の低下による利益率 の下落
- ・ 回収期間の長期化による収益性の悪化
- ・ 債権管理回収業に関する特別措置法の改正
- ・ 好条件での資金調達先の有無及び金融政策等の変更による影響
- ・ 親会社である㈱ニッシンの事業戦略、及び経営成績等
- ・ 当社の利用する情報、基幹システム、及びネットワークシステムの信頼性

ただし、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではなく、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響等によって、新たなリスクや不確実な要素が発生する可能性があります。

2006年3月期
中間期の連結業績

業績ハイライト・トピックス

・業績ハイライト

順調な債権回収の進捗、不動産市況の回復等により、
営業収益は9,353百万円(前年同期比179.6%増)、
経常利益は1,958百万円(同157.3%増)と増収増益。

特に、下期に予定していた不動産の上期売却実行により、
買取不動産売却高は4,048百万円。

・トピックス

住宅ローン不良債権に関する協力を目的に、
株式会社アイディーユーと業務提携。

中国不良債権投資に関する協力を目的に、
上海産権集团有限公司と合弁基本合意書締結。

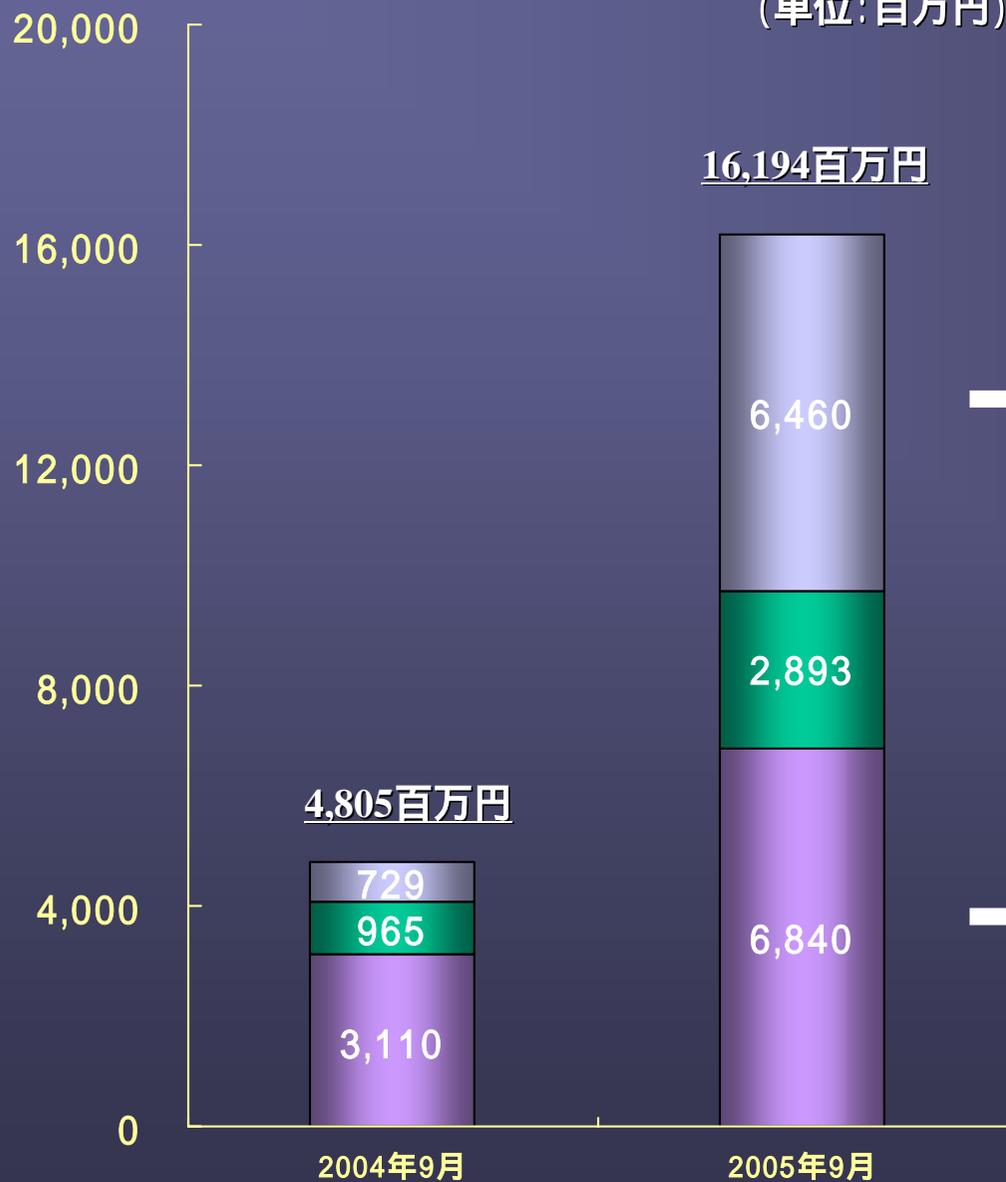
中間連結業績概要

(単位:百万円)

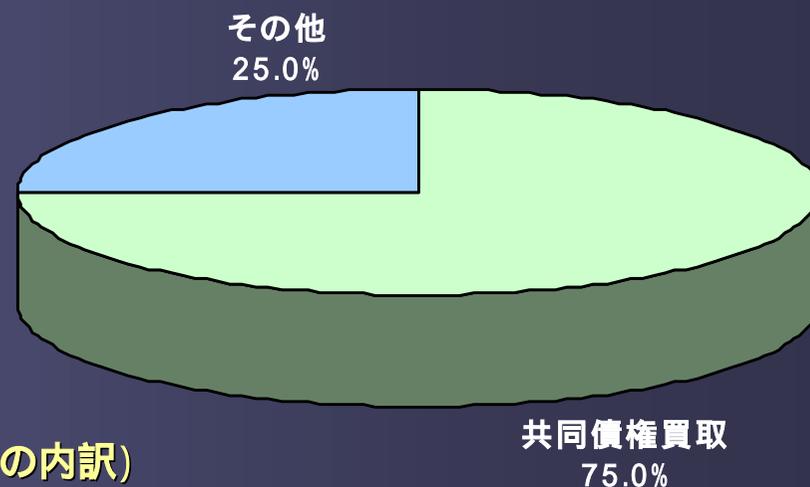
	2004年9月	2005年9月	前期比
営業収益	3,344	9,353	179.6%
営業総利益	1,702	3,470	103.9%
営業総利益率	50.9%	37.1%	-
代理回収弁済金控除 後の営業総利益率	56.0%	-	-
営業利益	833	2,133	156.0%
経常利益	760	1,958	157.3%
中間純利益	446	1,140	155.1%

連結投資実績

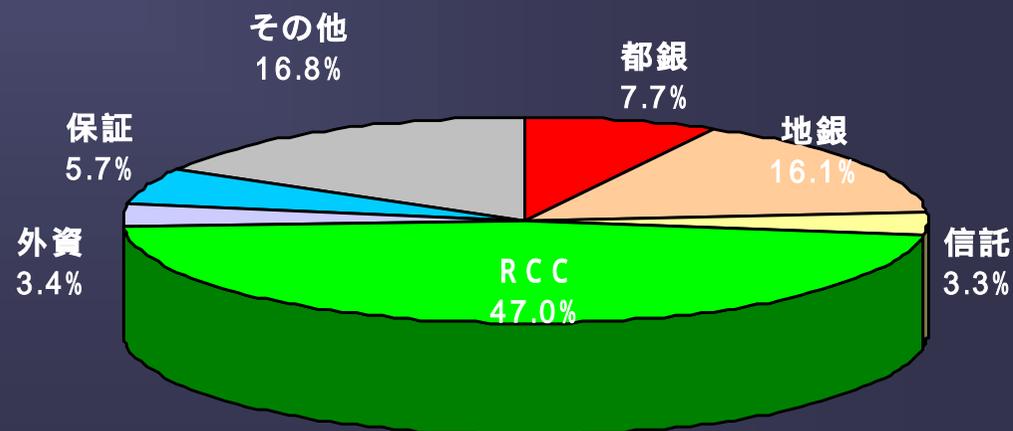
(単位:百万円)



(匿名組合出資の内訳)



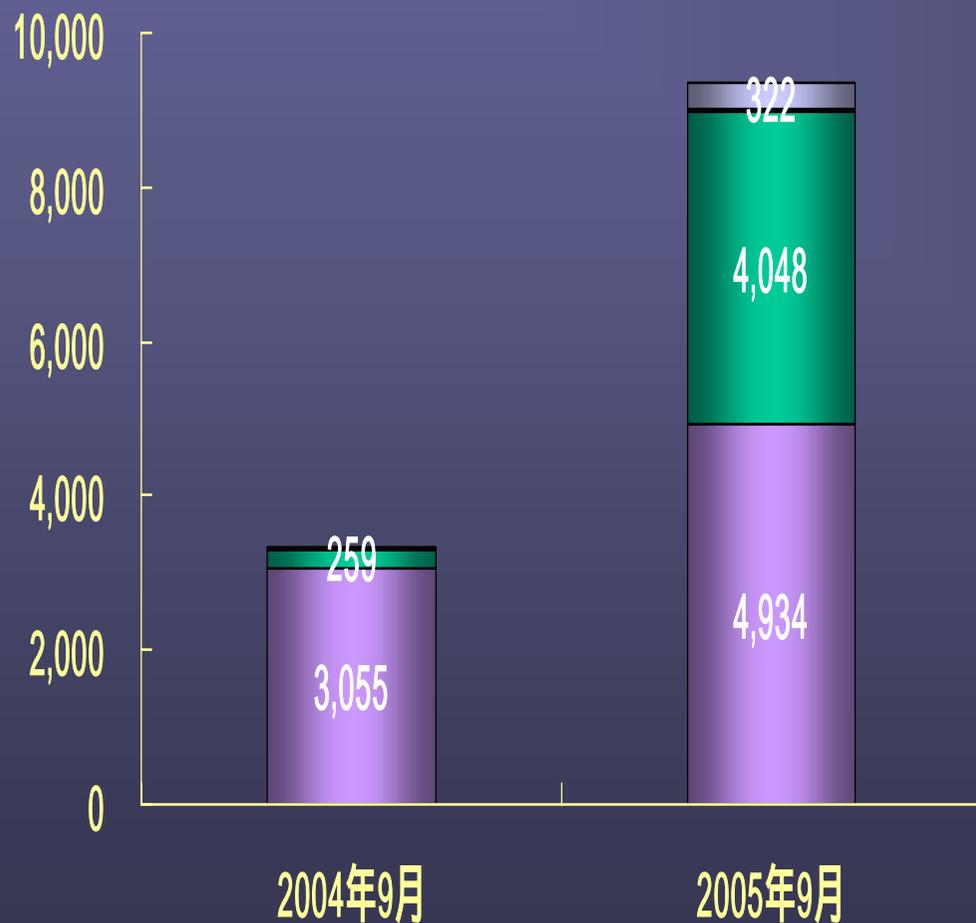
(債権買取の内訳)



■ 債権買取 ■ 不動産買取 ■ 匿名組合出資

連結営業収益の内訳

(単位:百万円)

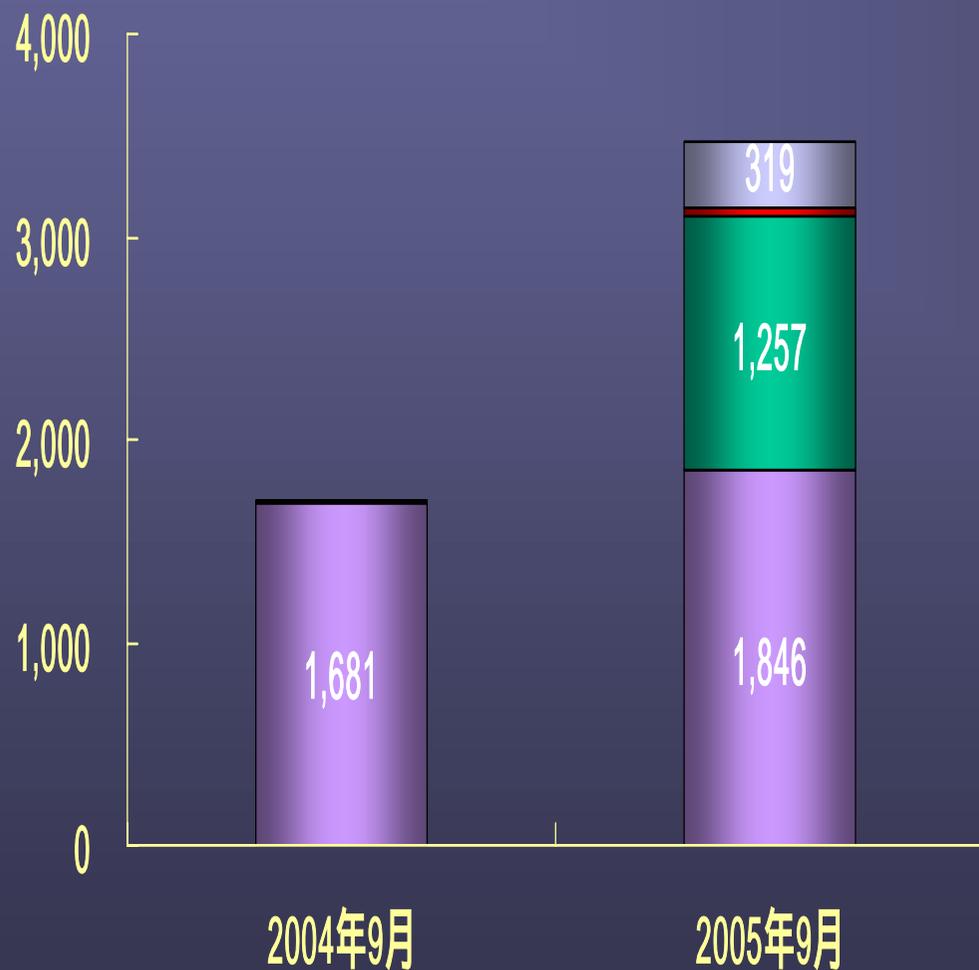


■ 買取債権回収高 ■ 買取不動産売却高 ■ 受託手数料 ■ その他

	2004年9月		2005年9月		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
営業収益	3,344	100.0%	9,353	100.0%	+ 179.6%
買取債権回収高	3,055	91.4%	4,934	52.8%	+ 61.5%
買取不動産売却高	259	7.8%	4,048	43.3%	-
受託手数料	7	0.2%	46	0.5%	+ 535.2%
その他	21	0.6%	322	3.4%	-

連結営業総利益の内訳

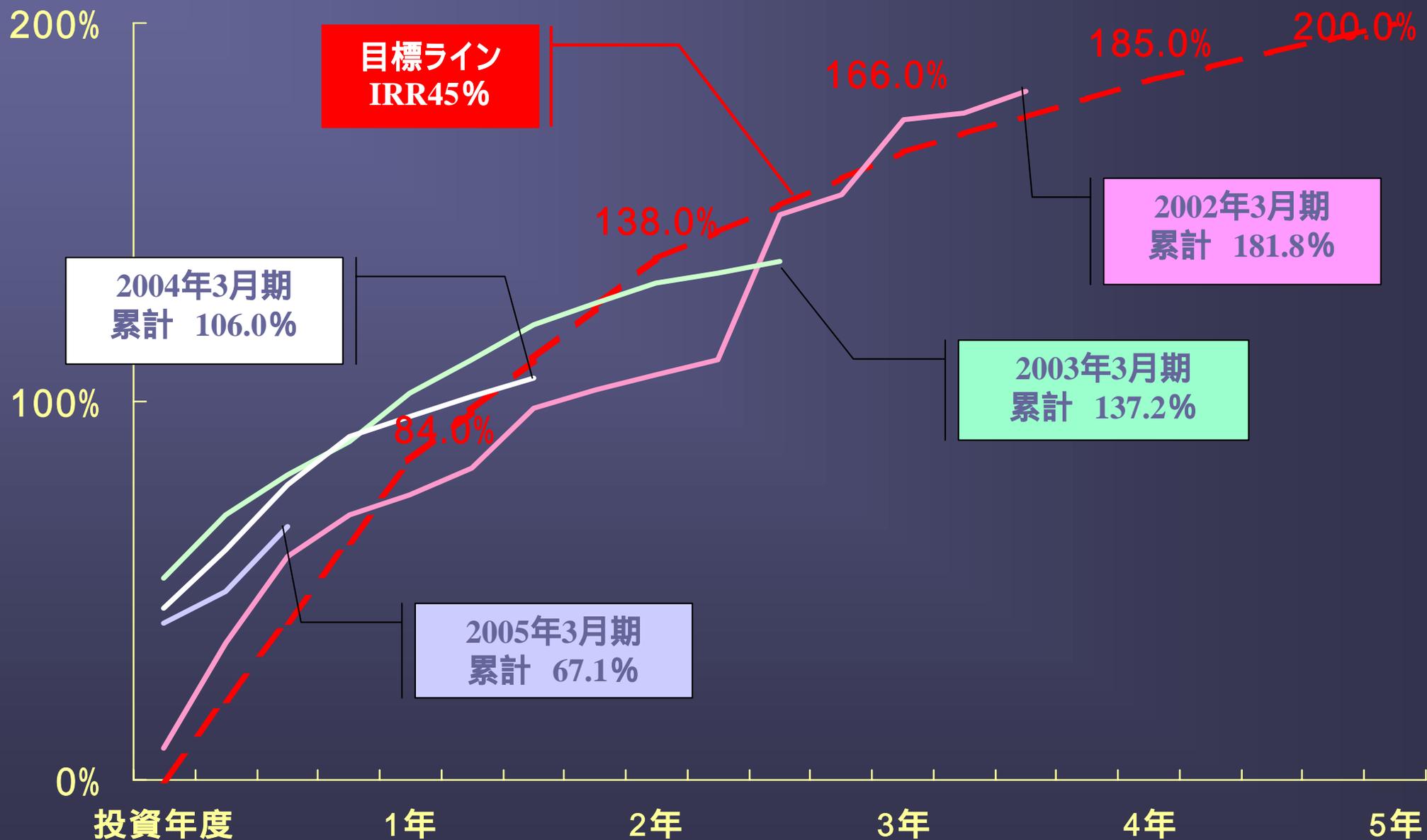
(単位:百万円)



■ 債権回収益 ■ 買取不動産売却益 ■ 受託手数料 ■ その他

	2004年9月		2005年9月		前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
営業総利益	1,702	100.0%	3,470	100.0%	+ 103.9%
債権回収益	1,681	98.8%	1,846	53.2%	+ 9.8%
(原価率)	(45.0%)	-	(62.6%)		
不動産売却益	4	0.2%	1,257	36.2%	
受託手数料	7	0.4%	46	1.4%	+ 535.2%
その他	17	1.0%	319	9.2%	-

買取債権回収実績率の推移



2005年9月迄の個別数値です。

買取不動産売却高の状況

(単位:百万円)

	保有期間	売却高	売却原価	総利益	摘要
物件A	6ヶ月	266	236	30	大阪市内の商業ビル
物件B	5ヶ月	183	144	39	東京都内の商業ビル
物件Cグループ (43物件)	4~6 ヶ月	795	662	133	銀行子会社が有していた店舗、住居等
物件D	3ヶ月	2,802	1,747	1,054	都内湾岸地区の倉庫
計	—	4,048	2,790	1,257	

主要経費の明細

(単位:百万円)

	2004年9月	構成比	2005年9月	構成比	前年同期比
貸倒関連費用	392	45.1%	593	44.4%	+ 51.4%増

貸倒引当金残高 04年9月 1,052百万円 05年9月 1,627百万円
 貸倒引当率 04年9月 15.6% 05年9月 10.0%

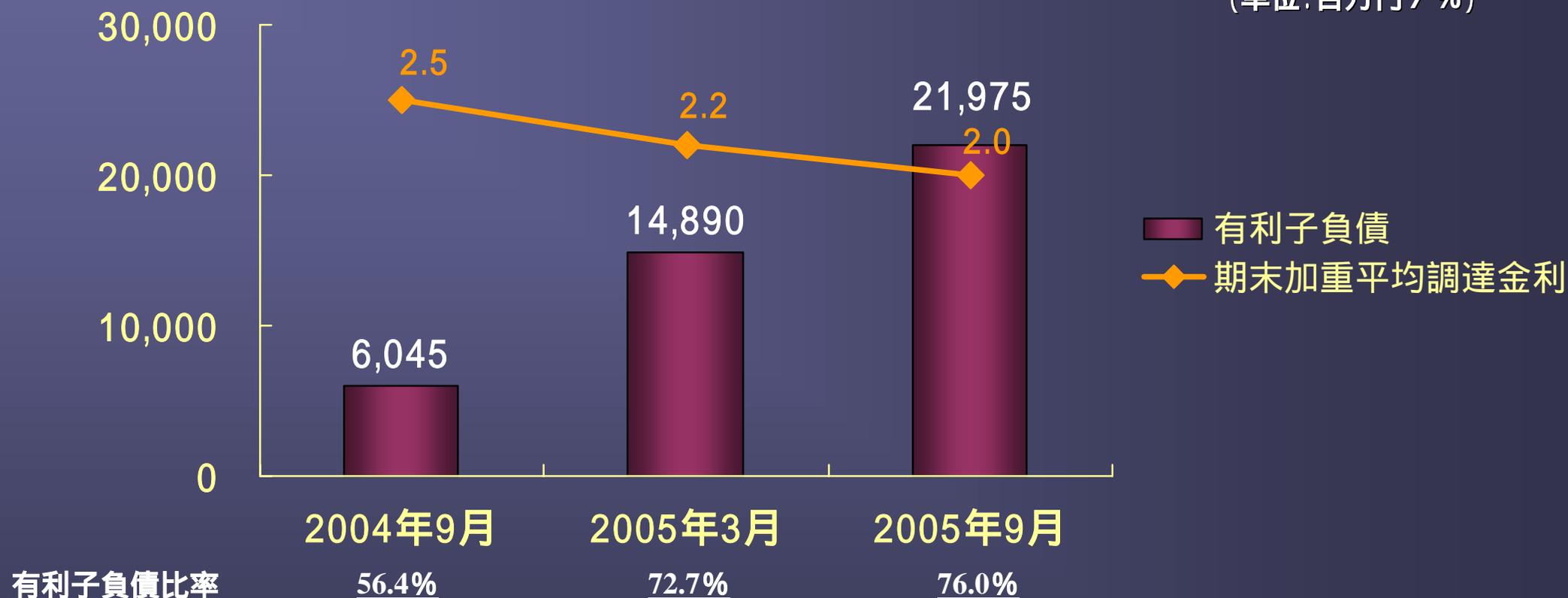
	2004年9月	構成比	2005年9月	構成比	前年同期比
給料手当(賞与含)	161	18.5%	214	16.1%	+ 33.2%増

従業員数 04年9月 48名 05年9月 64名
 05年9月 管理回収部門 24名 アセットマネジメント部 17名

	2004年9月	構成比	2005年9月	構成比	前年同期比
販売・一般管理費 合計	869	100.0%	1,337	100.0%	+ 53.9%増

借入金等の状況

(単位:百万円 / %)



- ・取引先 04年9月 9社(銀行9行)、他シンジケート1、社債1
 05年3月 24社(銀行22行、ノンバンク2社)他シンジケート1、社債1
 05年9月 29社(銀行27行、ノンバンク2社)他シンジケート2、社債1
- ・05年9月、第2回目のシンジケートローン5,800百万円組成(中間未実行額4,150百万円)

2006年3月期の計画

個別方針

企業再生

メガバンクは不良債権比率の半減目標達成により、処理債権を破綻先等から破綻懸念・要注意先等にシフト

当社のサービシング・不動産関連ノウハウ及びNISグループの総合力を最大限に活用し、実行性の高い企業再生を目指す。

買取不動産

サービサーとしての投資情報を活かした物件取得。スピーディーな取得・売却判断により投資効率向上を追求する。

共同債権買取

新規取引先(他投資家)を開拓し、投資額増加を目指す。

その他

中国不良債権投資の早期実行を目指す。

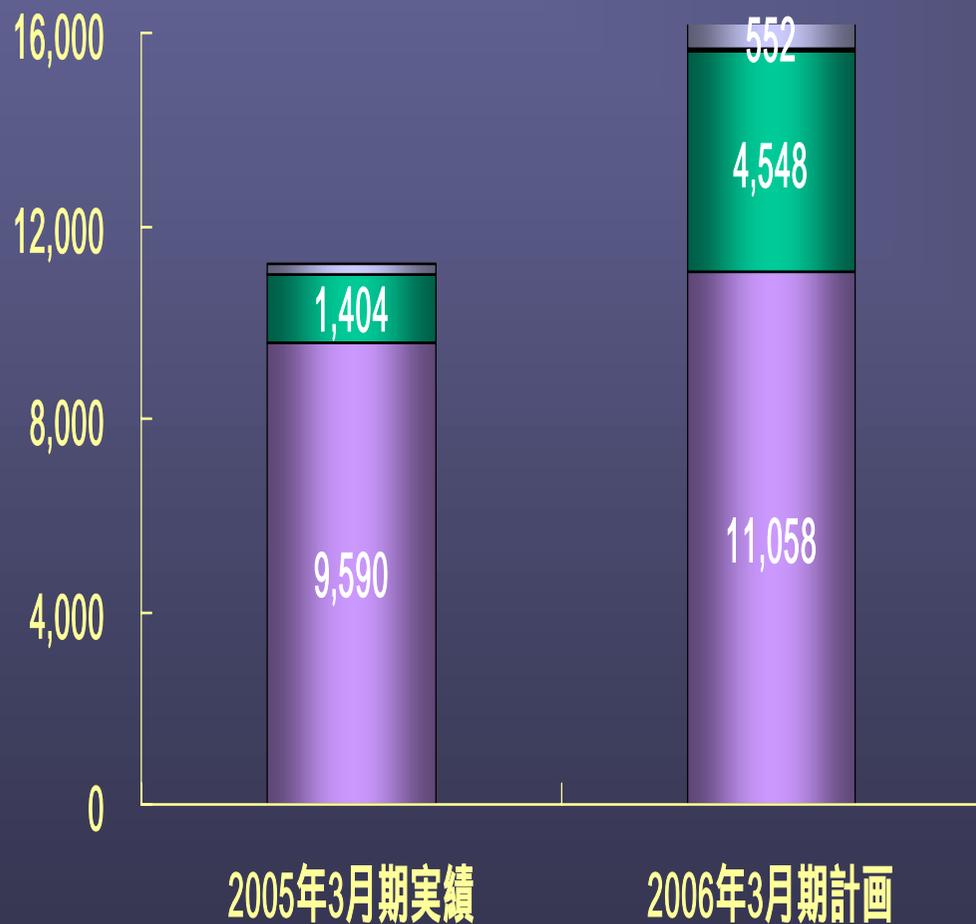
連結業績概要

(単位:百万円)

	2005年3月期 実績	構成比	2006年3月期 計画	構成比	前期比
債権買取	15,251	-	17,340	-	+ 13.7%
営業収益	11,198	100.0%	16,235	100.0%	+ 45.0%
営業総利益	3,860	34.5%	6,144	37.8%	+ 59.2%
営業利益	1,926	17.2%	3,456	21.3%	+ 79.4%
経常利益	1,761	15.7%	3,065	18.9%	+ 74.0%
当期純利益	1,022	9.1%	1,793	11.0%	+ 75.4%

連結営業収益の内訳

(単位:百万円)

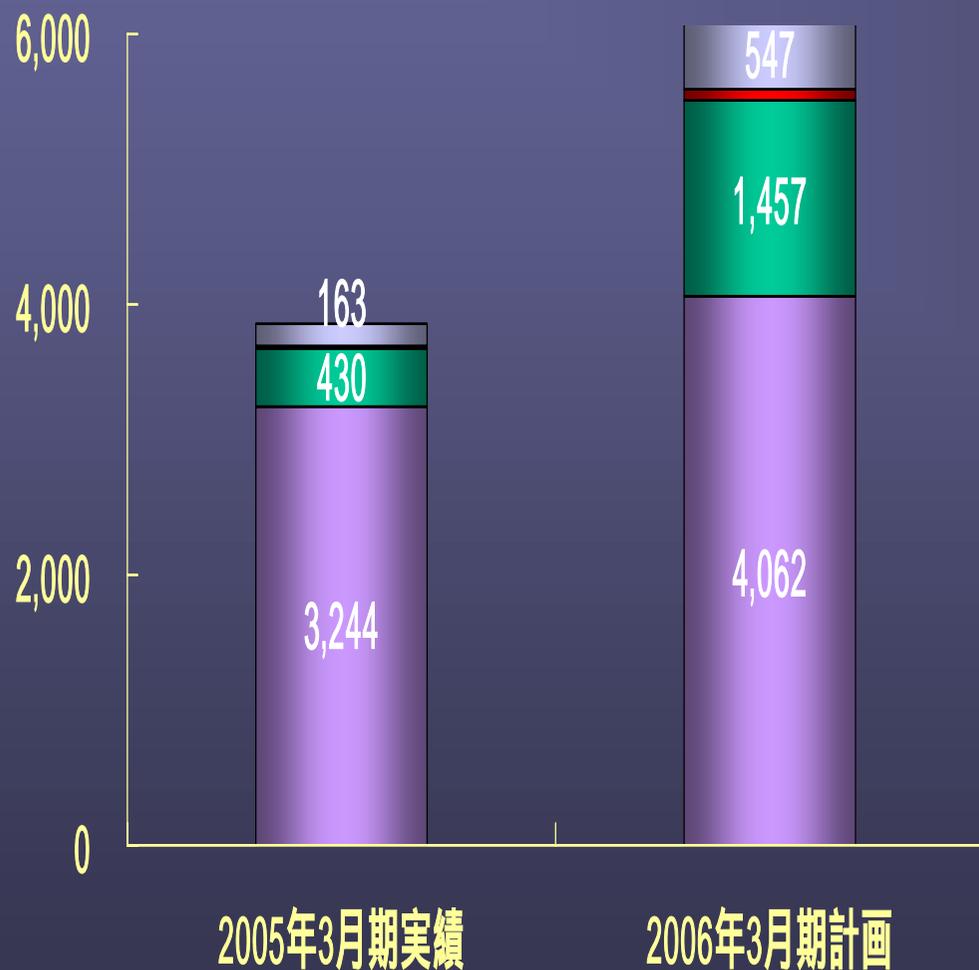


	2005年3月期 実績		2006年3月期 計画		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
営業収益	11,198	100.0%	16,235	100.0%	+ 45.0%
買取債権回収高	9,590	85.7%	11,058	68.1%	+ 15.3%
買取不動産売却高	1,404	12.5%	4,548	28.0%	+ 223.9%
受託手数料	22	0.2%	75	0.5%	+ 241.7%
その他	181	1.6%	552	3.4%	+ 205.2%

■ 買取債権回収高 ■ 買取不動産売却高 ■ 受託手数料 ■ その他

連結営業総利益の内訳

(単位:百万円)



	2005年3月期 実績		2006年3月期 計画		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
営業総利益	3,860	100.0%	6,144	100.0%	+ 59.2%
債権回収益	3,244	84.0%	4,062	66.2%	+ 25.2%
不動産売却益	430	11.2%	1,457	23.7%	+ 238.6%
受託手数料	22	0.6%	75	1.2%	+ 241.7%
その他	163	4.2%	547	8.9%	+ 235.8%

■ 債権回収益 ■ 買取不動産売却益 ■ 受託手数料 ■ その他

連結販管費明細

(単位:百万円)

	2005年3月期 実績	構成比	2006年3月期 計画	構成比	前期比
貸倒関連費用	820	42.4%	1,194	44.4%	+ 45.6%
役員報酬	61	3.2%	70	2.6%	+ 13.4%
給料手当(賞与含)	417	21.6%	553	20.6%	+ 32.6%
債権買取費用	207	10.7%	260	9.7%	+ 25.8%
雑費	121	6.3%	200	7.5%	+ 64.9%
減価償却費	5	0.3%	6	0.2%	+ 17.2%
賃貸料	83	4.3%	112	4.2%	+ 34.6%
その他	215	11.1%	288	10.8%	+ 34.1%
販管費合計	1,933	100.0%	2,687	100.0%	+ 39.0%

目標指標

買取債権回収率 170% ~ 200%

営業総利益率 40%

株主資本比率 20%

參考資料

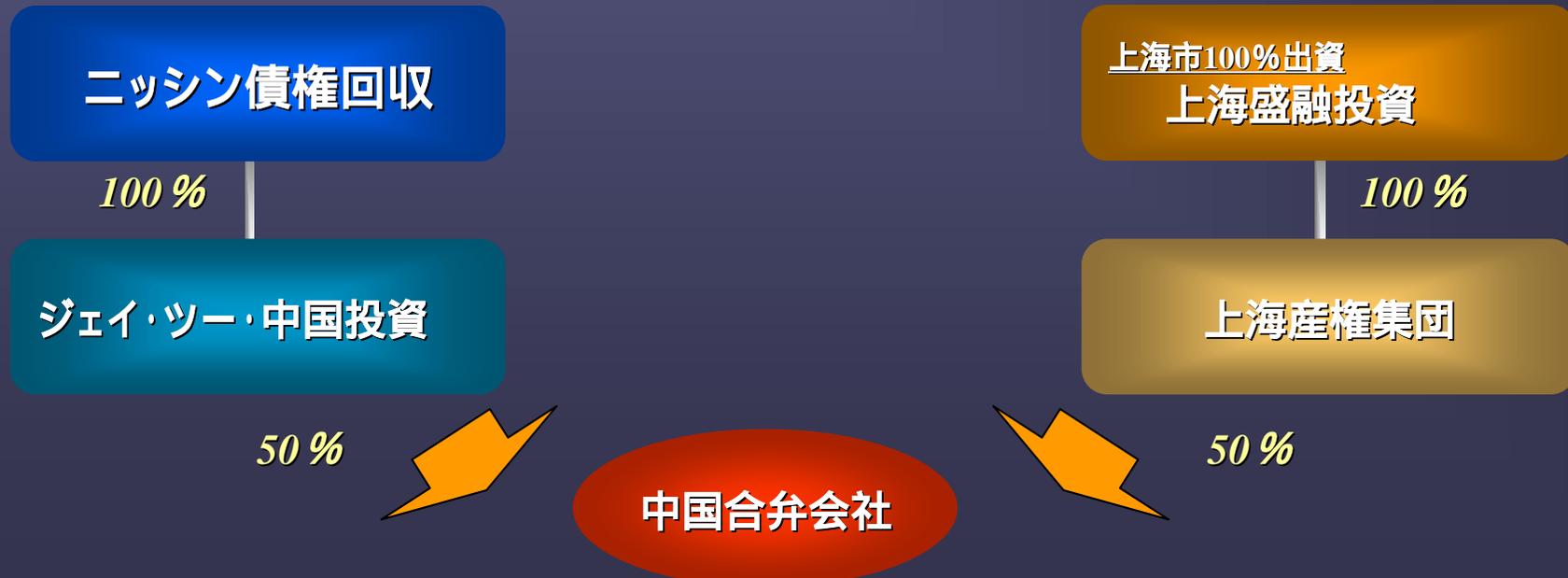
中国不良債権市場への参入

中国不良債権市場の状況

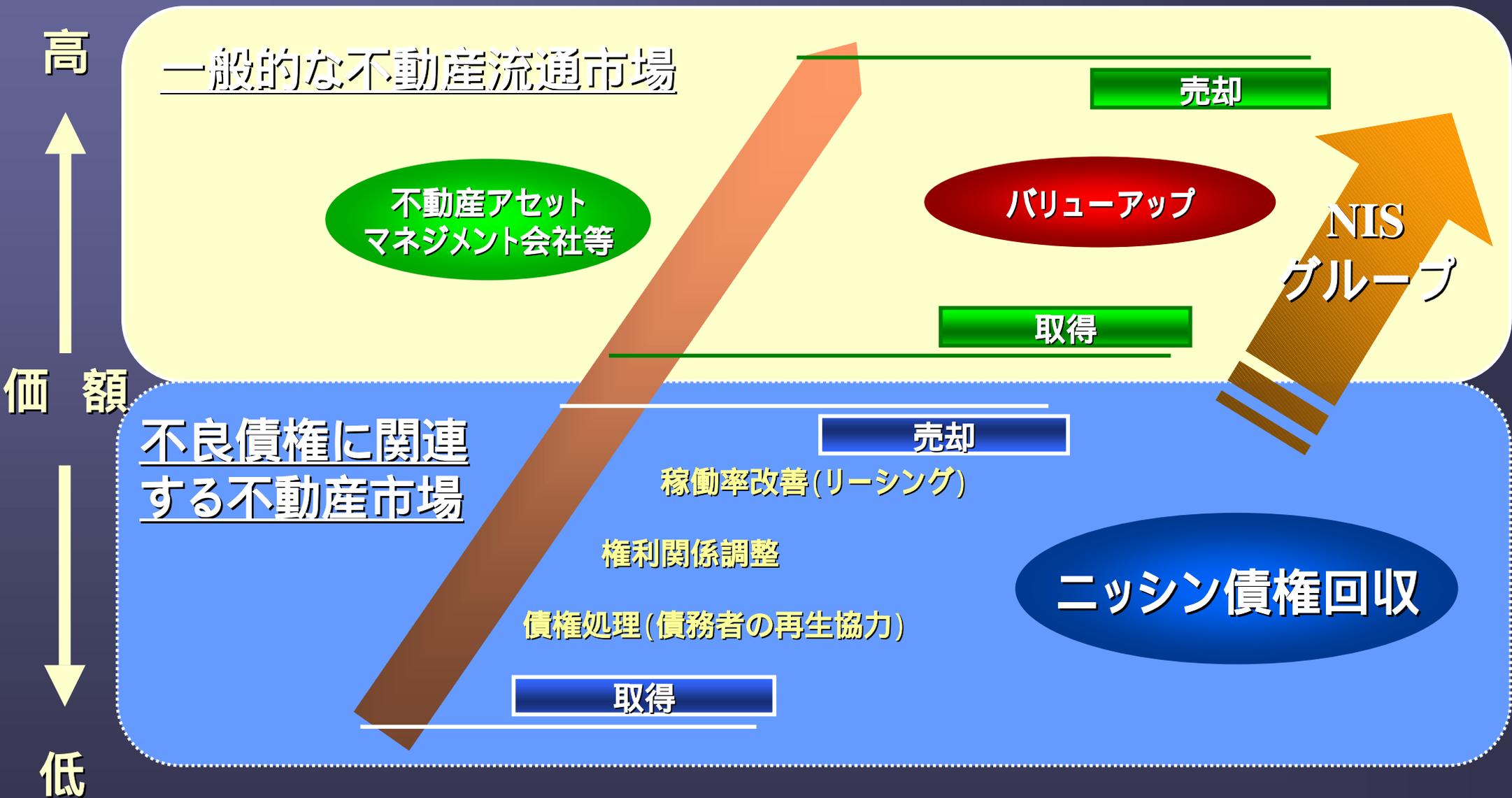
国営企業の民営化推進や四大銀行(中国銀行、建設銀行、工商銀行、農業銀行)の株式公開に向けて不良債権処理が活発に進められており、今後、不良債権流動化市場は急速に拡大していくものと予想される。

当社の取り組み

上海市政府の有力国営企業、上海産権集団と中国不良債権投資事業に関する基本合意書を締結し、同社グループが有する中国国内のネットワーク及び投資事業に関するノウハウと、当社が培ってきた不良債権投資、不動産関連のノウハウを融合し、中国における不良債権処理に貢献するとともに国有資産の有効利用等を提案していく。



不動産市場におけるマーケットポジション



サービス特有の情報を活かした不動産取得

企業再生業務

ニッシン債権回収

複数債務の圧縮
(債権買取機能活用)

フィナンシャルアドバイス
(新規調達先開拓)

顧客企業の
の再生

回収の最大化

サービサー特有の機能を活かした企業再生への取組み

サービス業界のマーケットポジション

債権買取型

リース・不動産業系
サービス

貸金業系
サービス

債権受託型

銀行・リース系
外資系投資家
サービス

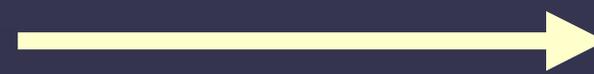
独立系
サービス

流通カード・管理組合系
サービス

高



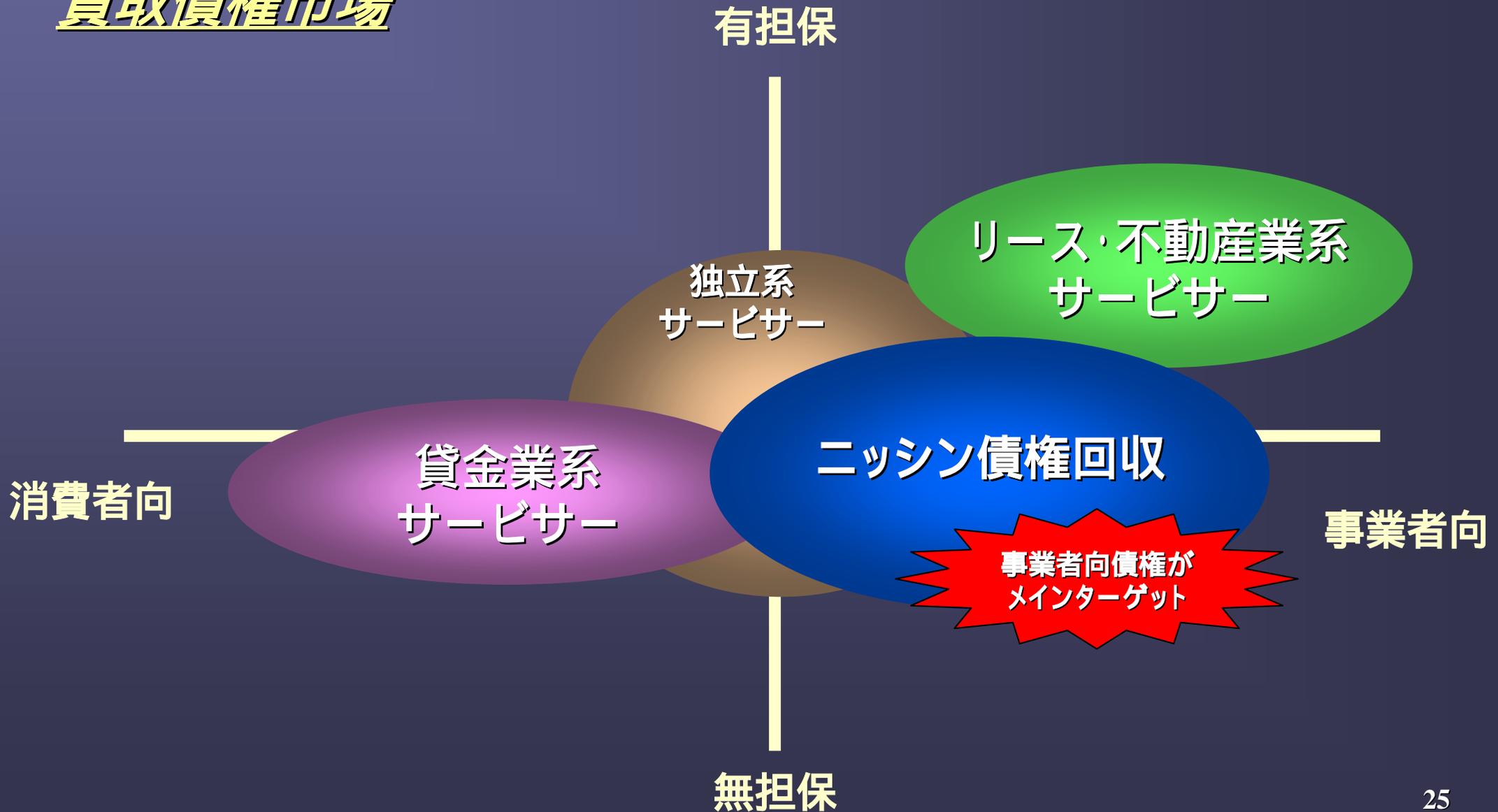
リスク
リターン



低

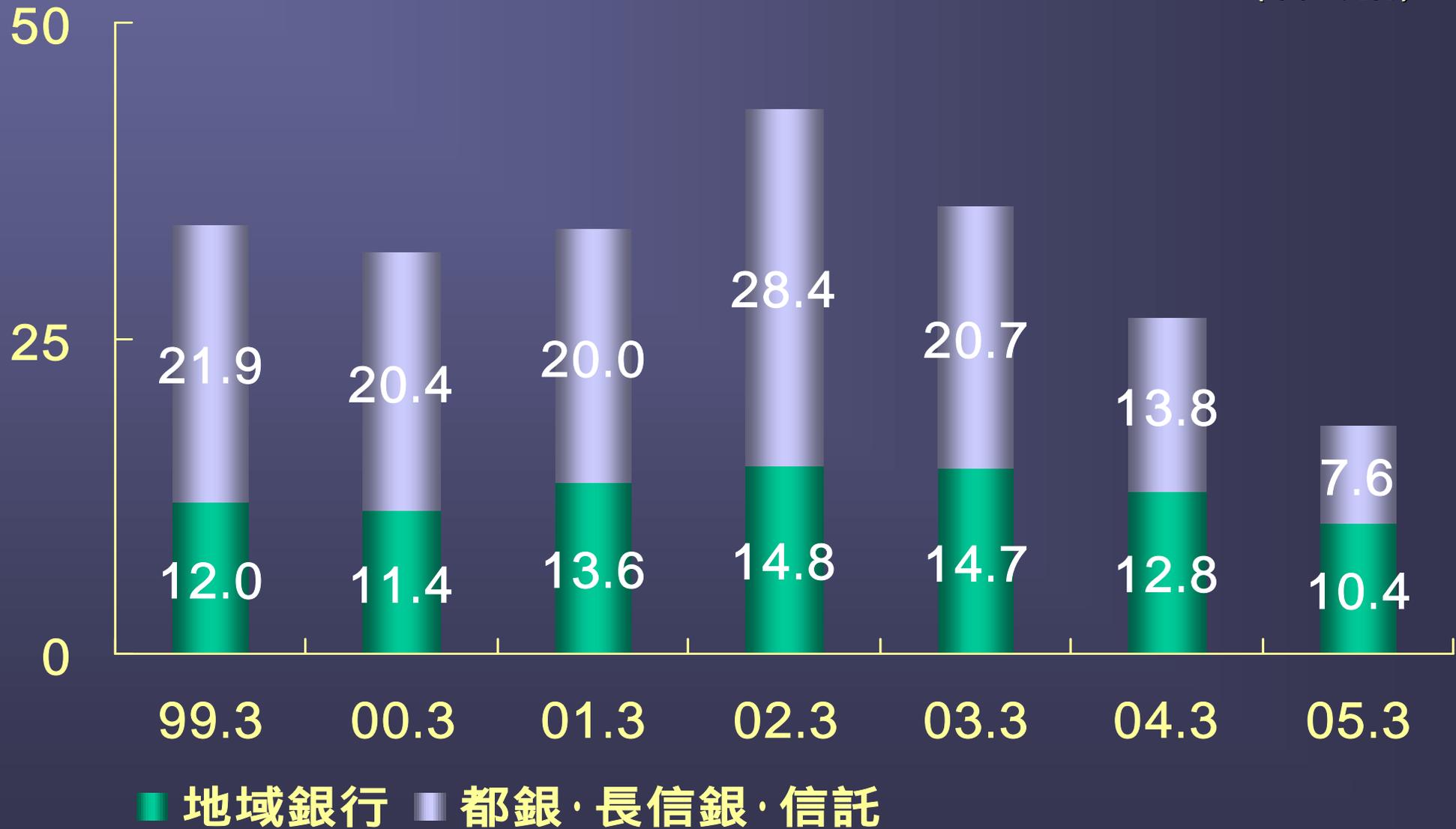
当社のマーケットポジションと競合

買取債権市場



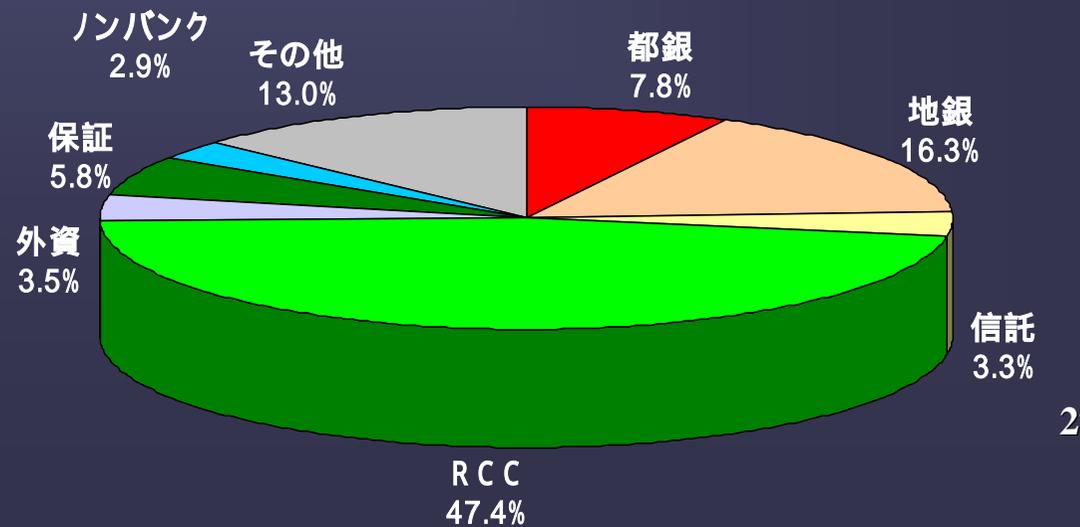
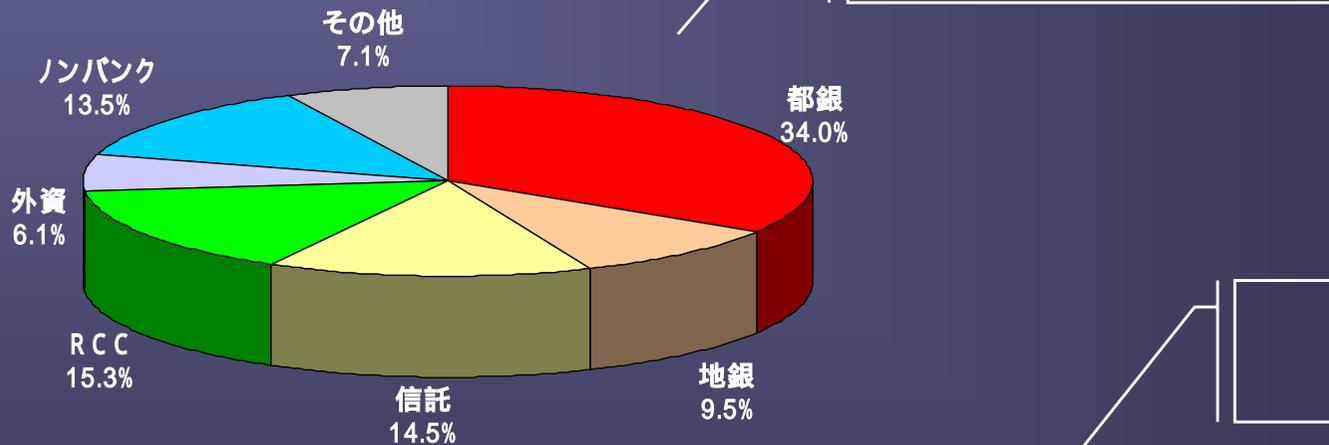
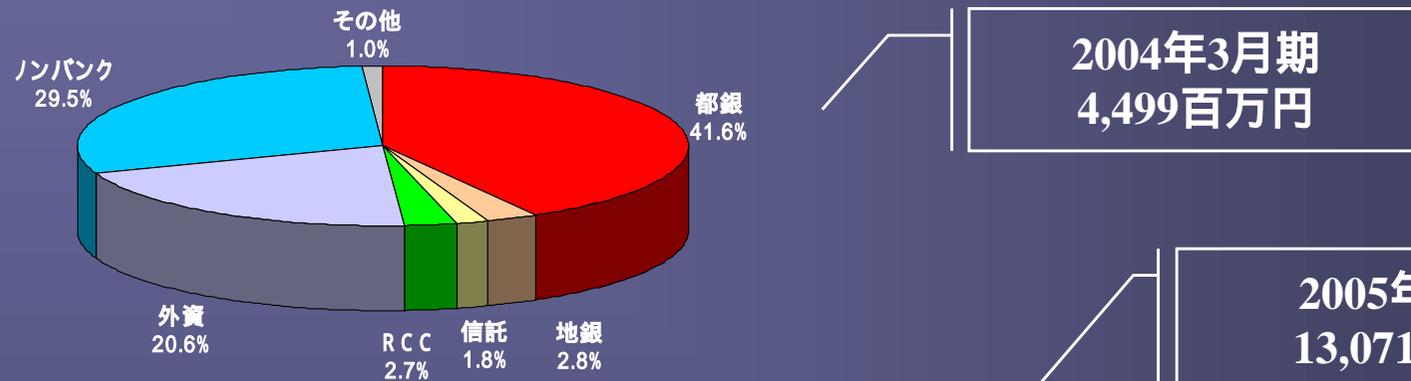
金融再生法開示債権の推移

(単位:兆円)



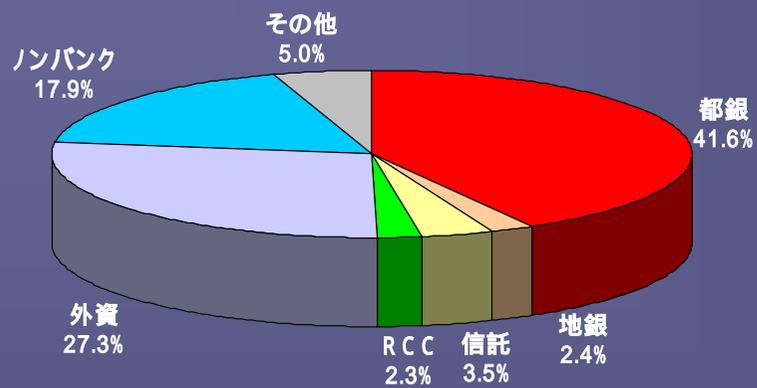
出典:金融庁「不良債権の状況等」

取引先別 買取債権(投資額)

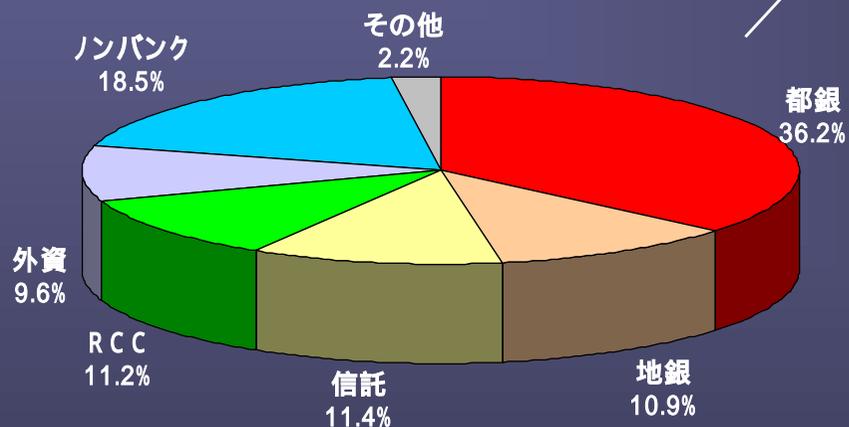


ニッシン債権回収の個別数値です。

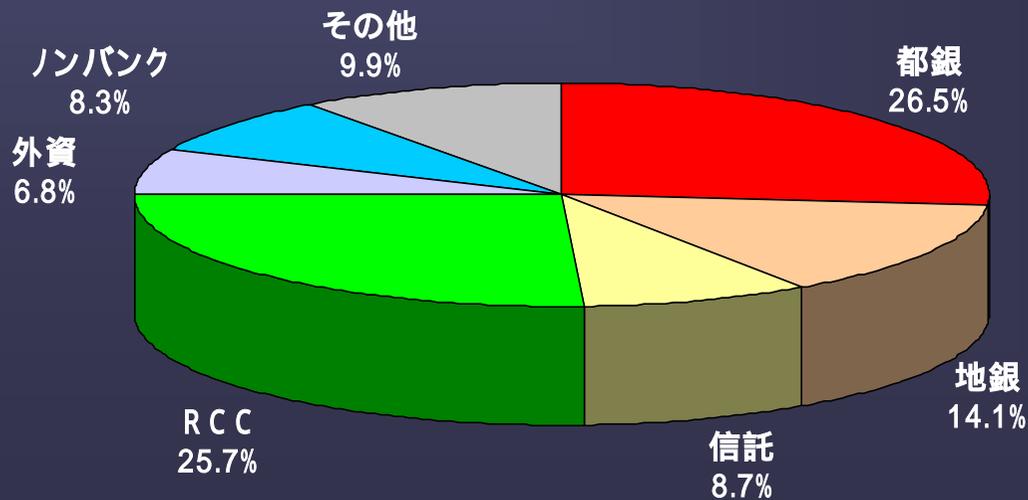
取引先別 買取債権(残高)



2004年3月期
5,057百万円



2005年3月期
11,600百万円



2005年9月
15,032百万円

ニッシン債権回収の個別数値です。

連結範囲

